

記事掲載：2023年3月

翻訳：2023年3月

国際女性デーに、ECW は、緊急時や長引く危機状況下の教育における ジェンダー平等を推進するために 135 万米ドルの支援を行うことを発表



©Education Cannot Wait

国際女性デーとなる3月8日、[ECW](#) は、緊急時や長期的な危機対応における国際的な教育のためのジェンダー平等推進のために135万米ドルの助成金を発表しました。

[プラン・インターナショナル UK](#)、[ユニセフ](#)、[VOICE](#) が実施する「ECW アクセラレーション・ファシリティ（加速器的）助成金」は、紛争、気候変動、強制移住、その他の長引く危機や緊急事態の影響を受けた女の子に不均衡な影響を与える既存のジェンダーの障壁やリスクへの対処に使われます。

「質の高い教育がもたらす安全、希望、機会がなければ、危機の影響下にある女の子は、中途退学、早すぎる結婚、ジェンダーに基づく暴力、その他の人権侵害の重大なリスクに直面します。ECW は、あらゆる場所で、すべての女の子が12年間の質の高い教育を受けられるようにすることを約束します」と、緊急時および長期化する危機下の教育のための国連グローバル基金であるECW 事務局長ヤスミン・シェリフは述

べています。「危機的な影響を受けた女の子への教育を変革することで、持続可能な開発目標に示された万人のための教育とジェンダー平等という公約を実現する道を切り開くものです。」。

危機の影響を受けた国に住む脆弱な女の子のうち、前期中等教育（日本の中学校に相当）を修了しているのは、およそ4人に1人であり、思春期の女の子は、危機の中で最も疎外され、ニーズが満たされていない子どもたちのグループの1つです。現在、**4220万人**以上の女の子が学校に通っていません。

ジェンダー平等は、ECWの4年間の**戦略計画**と資金調達戦略で最重要課題にされています。新たな助成金は、ジェンダーに基づく暴力のギャップと緊急時の教育におけるボトルネックへの対処や、ECWの複数年プログラムを支援し革新的なアプローチの運用、そしてジェンダー平等と世界の女の子のエンパワーメントを促進する公共財を開発することに使われます。

ECWは、プラン・インターナショナルUKに60万米ドルの助成金を提供し、緊急時や長引く危機に直面する国で、ジェンダー・トランスフォーマティブ教育のためのより強固なエビデンスの構築と人材育成を行います。この活動は、ECWの支援対象となっている4カ国で、複数年にわたる証拠に基づくジェンダー・トランスフォーマティブ・プログラムの設計を支援し、3カ国でそのようなプログラムを提供するパートナーの能力を強化するものです。これは、緊急時の教育関係者向けの迅速なジェンダー分析ツールの開発と、緊急教育プログラムでジェンダー・トランスフォーマティブ教育の設計と実施パートナーの能力強化を通じて達成されます。

「プラン・インターナショナルUKは、ジェンダー平等に関する専門知識をECWとの新しいパートナーシップに活かし、すべての人の教育へのアクセス向上を確保するための活動の中心に、女の子の声と女の子特有のニーズを置くことを約束します。女の子は明日の女性です。彼女たちが今直面している不平等を解決することによってのみ、彼女たちの未来に大きな機会が開かれるのです」と、プラン・インターナショナルUKのCEO、ローズ・コールドウェルは述べています。

ECWはまた、ジェンダー・トランスフォーマティブ教育を推進し、セクターにおけるジェンダーに基づく暴力リスク軽減の効果を監視・測定する実施者の能力を強化することを目的とした取り組みに対して、ユニセフに50万ドルの助成金を提供します。これは、ECWが拠出するすべての事業でジェンダーに基づく暴力リスク軽減対策を体系的に統合するという公約に沿うものです。これを測定するための一般的に合意された方法論はないため、介入を追跡するための強固な測定方法と指標を開発することが肝要です。このパートナーシップは、緊急時や長引く危機におけるジェンダー・トランスフォーマティブ教育の実践的な適用に関するガイダンスの致命的なギャップを埋めることに貢献します。

ユニセフのキャサリン・ラッセル事務局長は、「女の子やユース女性が学校に通えなくなさせている障壁を取り除くことは、教育への平等なアクセスを確保し、より公平な世界を築くための最も効果的な方法の1つです」と述べています。「今回の拠出された資金は、教育におけるジェンダーに基づく暴力や差別に取り組む私

たちの活動を強化する上で非常に重要です。ユニセフはパートナーとともに、すべての子どもが学び、安心して過ごせる学校づくりに全力を尽くします」

VOICE は、緊急時の教育セクターへの現地女性団体の有意義な参画を強化するため、25 万ドルの ECW による助成を受けます。危機の最前線に対応する団体として、ECW とパートナーが支援する女の子たちが直面する現実への独自のアクセスと認識を持っており、安全で包摂的な質の高い教育を受けるために彼女たちが直面している障壁を最もよく理解しています。この取り組みは、ECW の投資先 2 カ国に焦点を当てた調査報告書と現地女性団体のこのセクターへの有意義な参画に対するドナーの支援拡大を求める報告書が成果として結実することになります。

「VOICE は、現地の女性や女の子による団体と緊急時の教育セクターとの間の不公平な力関係に対応し、公平でより包摂的なパートナーシップと調整に向けた変革のため、ECW の助成金による活動を実施できることを嬉しく思います」と、VOICE の事務局長兼共同創設者のメンディ・マーシュは述べています。

ECW の新たな「戦略計画 2023-2026」に基づき、アクセラレーション・ファシリティ助成金は、ジェンダー平等への障壁を取り除き、ジェンダーに基づく暴力リスクを軽減し、教育において／教育を通じて女性と女の子のエンパワーメントに貢献する取り組みに焦点を当てることを掲げています。

ECW とその戦略的パートナーは、緊急時や長期化する危機において、教育を通じてジェンダー平等を支援するために、これまで以上に主導的な役割を果たすことを約束します。今回の助成金は、今後の ECW の支援、特に複数年のプログラムにおいて、深く根付いたジェンダーの障壁を取り除くための大きな一歩であり、危機の影響を受けた女の子や思春期の女の子が、その権利である安全で包摂的、かつジェンダー平等な質の高い教育を受けられるようにするためのものです。

【翻訳前の記事（英語）】

[On International Women's Day, Education Cannot Wait Announces US\\$1.35 Million Investment to Advance Gender Equality in Education in Emergencies & Protracted Crises | Education Cannot Wait](#)